

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任																																												
公民	医療倫理	1	3年次		鈴木 司・高市 道弘・照井 広志 小町 金平・猪股 整																																												
選択するときの条件																																																	
使用教科書	なし		使用副教材	なし																																													
科目の目標					道徳教育のねらい																																												
・医療に関する知識に関して、基本的な理解を深める。 ・医療に関わる諸課題と倫理に関して、他者と対話しながら、論理的に考え、探究する。 ・医療にまつわる倫理的課題から、人間としてのあり方、生き方について多面的に考察し、自分の考えを説明・論述する。					現代医療の課題を取り上げ、人間の在り方や生き方について考察させる。																																												
学習活動内容			育てたい6つの力（資質・能力）																																														
			1	2	3	4	5	6																																									
			主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力																																									
1	講座の聴講		◎	◎	◎		○																																										
2	ディスカッション、ペアワーク		◎		◎	◎	◎																																										
3	レポート作成・提出		○		◎	◎		◎																																									
4	問題演習(確認テスト)		◎	◎	○	○		◎																																									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">評価の観点</td> <td colspan="2">知識・技能</td> <td colspan="3">思考・判断・表現</td> <td colspan="3">主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">医療について基本的な事柄や、学びについて理解し、その知識を身につけている。諸資料から、医療に関する有用な情報を主体的に選択・活用して学び方を身につけている。</td> <td colspan="3">自ら課題を見出し、広い視野に立って多角的かつ多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</td> <td colspan="3">医療に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとしている。</td> </tr> </table>									評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			医療について基本的な事柄や、学びについて理解し、その知識を身につけている。諸資料から、医療に関する有用な情報を主体的に選択・活用して学び方を身につけている。		自ら課題を見出し、広い視野に立って多角的かつ多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。			医療に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとしている。																										
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																																											
	医療について基本的な事柄や、学びについて理解し、その知識を身につけている。諸資料から、医療に関する有用な情報を主体的に選択・活用して学び方を身につけている。		自ら課題を見出し、広い視野に立って多角的かつ多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。			医療に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとしている。																																											
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">評価の方法</td> <td colspan="8">①観点別評価 各評価の観点について以下の点数を配分し、それぞれの達成度合い(%)をABCで評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価の三観点</td> <td colspan="3">主な評価材料</td> <td colspan="3">②における配点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">知識・技能</td> <td colspan="3">レポート、確認テスト</td> <td colspan="3">30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">思考・判断・表現</td> <td colspan="3">レポート、課題</td> <td colspan="3">30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td> <td colspan="3">レポート、授業への取組み、出欠</td> <td colspan="3">40</td> </tr> </table>									評価の方法	①観点別評価 各評価の観点について以下の点数を配分し、それぞれの達成度合い(%)をABCで評価する。								評価の三観点		主な評価材料			②における配点			知識・技能		レポート、確認テスト			30			思考・判断・表現		レポート、課題			30			主体的に学習に取り組む態度		レポート、授業への取組み、出欠			40	
評価の方法	①観点別評価 各評価の観点について以下の点数を配分し、それぞれの達成度合い(%)をABCで評価する。																																																
	評価の三観点		主な評価材料			②における配点																																											
	知識・技能		レポート、確認テスト			30																																											
	思考・判断・表現		レポート、課題			30																																											
主体的に学習に取り組む態度		レポート、授業への取組み、出欠			40																																												
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">②100段階評価（定期考査毎）および5段階評定（学年末）</td> <td colspan="2">十分満足、特に高い</td> <td>5</td> <td>80～100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①の各観点における得点を合計して評価する。</td> <td colspan="2">十分満足</td> <td>4</td> <td>65～79</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学年末に右表により5段階（5～1）で評価する。<評定></td> <td colspan="2">おおむね満足</td> <td>3</td> <td>45～64</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">努力を要する</td> <td>2</td> <td>30～44</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">努力を要する、特に低い</td> <td>1</td> <td>0～29</td> </tr> </table>									②100段階評価（定期考査毎）および5段階評定（学年末）		十分満足、特に高い		5	80～100	①の各観点における得点を合計して評価する。		十分満足		4	65～79	学年末に右表により5段階（5～1）で評価する。<評定>		おおむね満足		3	45～64			努力を要する		2	30～44			努力を要する、特に低い		1	0～29											
②100段階評価（定期考査毎）および5段階評定（学年末）		十分満足、特に高い		5	80～100																																												
①の各観点における得点を合計して評価する。		十分満足		4	65～79																																												
学年末に右表により5段階（5～1）で評価する。<評定>		おおむね満足		3	45～64																																												
		努力を要する		2	30～44																																												
		努力を要する、特に低い		1	0～29																																												

医療倫理 授業計画

学習指導計画				実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月 (3)	講座 講座 講座	市立函館病院高等看護学院および市立函館病院の講師による講座を受講し、医療職の職業理解、生命倫理、患者の権利、リハビリテーション、救急看護、臨床検査、感染症、放射線等、医療等、医療にまつわる様々な角度からの基本的な知識を身につけ、かつ現代の医療をとりまく諸課題について考察し、自分の意見をまとめられるようにする。			
	5月 (3)	講座 講座 プチ・オーキャン				オリエンテーション/倫理について 医療職種とチーム医療について 看護における倫理
	6月 (3)	講座 講座 講座				医療安全概論① 病院長講話～プチ・オーキャンを前に市立函館病院高等看護学院にて実施
	7月 (2)	講座 講座				患者の権利とインフォームドコンセント性をめぐる倫理問題 生命の尊厳・尊厳死について
	8月 (2)	講座 講座				広がる看護の活動領域 医療安全概論②
	9月 (3)	講座 プチ・オープンホスピタル				感染管理概論① 感染管理概論②
	時期未定 (1)	考査(確認テスト)				医療はチーム・他職種連携の時代① 市立函館病院にて実施(2時間)
後 期	10月 (3)	講座 講座 講座	医療はチーム・他職種連携の時代② 医療はチーム・他職種連携の時代③ 医療はチーム・他職種連携の時代④			
	11月 (4)	講座 講座 講座 講座	医療はチーム・他職種連携の時代⑤ 医療はチーム・他職種連携の時代⑥ 医療はチーム・他職種連携の時代⑦ 医療はチーム・他職種連携の時代⑧			
	12月 (2)	講座 講座	医療はチーム・他職種連携の時代⑨ 医療はチーム・他職種連携の時代⑩			
	時期未定 (1)	考査(確認テスト)				